

英語力を伸ばす活動、正確さ vs. 流暢さ、 高校での英語と大学入試

小川 エリナ

本研究は、アンケート調査の自由記述にて、大学生の英語力を伸ばす活動、正確さ vs. 流暢さ、高校での英語と大学入試についての意見を紹介する。英語能力を伸ばす活動において、104名の東洋大学生回答者が行った活動と、友人に勧める活動には大きな違いがあった。今まで英語能力を伸ばしたと思われた活動の中で一番多かった答えは「練習問題」であったが、それに対して、友達に進める活動として一番多かった答えは「リスニング」であった。さらに、回答者の多くは、英語を学ぶ上で「英会話」が一番重要な活動だと答えた。この結果から、とかく分析的な学習に偏った英語の学び方をしてきた学生の理想的な英語学習は、分析的な学習ではなく、体験的な学習であろう。英語を学ぶ上で、流暢さよりも正確さを選んだ学生が多かったが、どちらの場合も一番多く挙げられた理由は、「通じる事」であった。高校での英語教育を楽しんだ学生と楽しんでいない学生は半々に分かれたが、多くの学生は高校英語が大学入試に役に立ったと感じていることが分かった。

keywords : 英語力を伸ばす活動、正確さ、流暢さ、高校英語、大学入試

目次

序論

1. 英語力を伸ばす活動
2. 正確さvs. 流暢さ
3. 高校での英語と大学入試

結論

序論

大学の英語教師として、学生が英語力を伸ばす活動はどのようなものと感じているのか、また正確さと流暢さのどちらを重視しているのか、そして高校での英語学習と大学入試の関係をどう捉えているのかは気になる問題である。同行研究となる Ogawa & Izumi (2015) では、英語学習のビリーフ、学習方略、そして獲得した能力の自信度についてアンケート調査をもとに数量的な分析の結果を紹介している。そこで示されているのは、自身の英語力の自信度の向上のためには、分析的な学習よりも体験的な学習が大きな役割を果たしているということである。Yang (1999) も体験的な学習方略を多く使う学習者の方が外国語についての自信度が高いことを報告している。こういった結果を教育的観点から見ると、Lyster &

Mori (2006) が述べたように、いかに体験的な学習を授業の中にバランスよく取り入れていけるかが今後の英語教育の大きな課題となってくるだろう。

東洋大学人間科学総合研究所で行われた「異文化理解と外国語教育の 2014 年度のシンポジウム」(和泉、小川、2014) で述べられたように、学習者ビリーフは学習方略に影響を与えると同時に、選ばれた学習方略は学習者ビリーフに影響を与えると考えられる。また、学習者を取り囲む学習環境は学習方略に影響を与え、同時に学習方略自体もそういった学習環境を形成する重要な一部となっていく。そうすると、学習環境も直接的もしくは間接的に学習者ビリーフに影響を与えると考えられ、ビリーフ自体も環境形成に影響を与えることとなろう。こういった様々な要因が複雑に絡み合う中で、学習者の英語能力の自信と能力が育まれていくと考えられる。英語能力の自信と能力は強く関係しており (Sampasivam & Clement, 2014)、この関係をもっと研究する必要がある (Mills, 2014)。こういった背景を念頭に、Izumi, Shiwaku, & Okuda (2011)、そして Ogawa & Izumi (2015) は、日本人英語学習者の外国語学習に対するビリーフ、学習方法、そして自信度

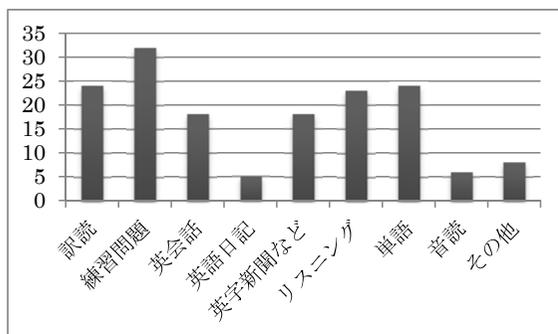
の関係について調べた。本稿では、Ogawa & Izumi (2015) では取り扱えなかった、大学生の回答者の自由記述について焦点を当てる。具体的には、東洋大学経営学部生回答者 104人 (TOEIC 平均点 398点、SD =75) から回収した回答を、大まかにではあるがまとめたものを記述的に紹介したい。

1. 英語力を伸ばす活動

アンケート用紙の自由記述のセクションは次の質問で始まった (個人個人である回答者の生の声を読めるため、すべてのコメントを本論文に付けた)。「これまであなたが英語を学ぶ中で、どのような活動が自分の英語力を伸ばす上で役立ったと思いますか。有効だったと思われる活動を全て書いて下さい (例：訳読、練習問題、英会話、英語で日記をつけること、英字新聞を読むこと)。」

回答は個人によって異なり、様々なものが出された。代表的なものだけを挙げると、以下のようなものが含まれていた：「訳読問題集をとく」、「英会話・英語で映画を見る・楽しくできる」、「英字新聞を読む」、「訳読してから音読すること」、「センター過去問」、「人前でのスピーチ・ステレオタイプ・異なる意見を聞くこと」など。その答えをグループ分けすると図 1 のように分ける事ができる。「練習問題」(「文法」など含む) は 32 人で一番多い答えであった。次に「訳読」が 24 人、「単語」が 24 人、「リスニング」(「ラジオ」や「映画」含む) が 23 人となった。

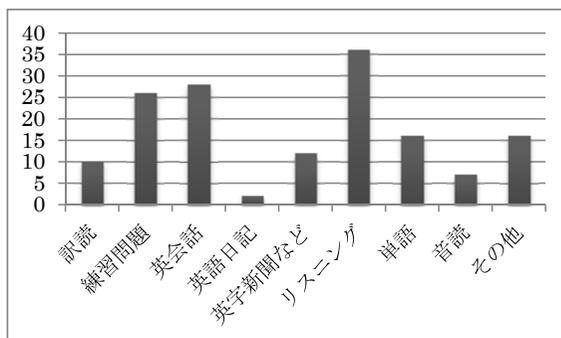
図 1：自分の英語能力を伸ばす活動 (複数回答可)



別の視点からまた英語力を伸ばす活動について尋ねた。今度は英語に自信のない友人にどのような勉強方法を勧めるかを尋ねた。この質問に対しても、様々な答えが引き出された。例えば、「英語圏に行く」、「文法など基礎を身につける。リスニングや音読をする」、「英語→日本語の翻訳」、「TOEICの勉強、英検の勉強」、「その人のレベルに合わせた問題集をやらせていき、自信をつけさせ英語に興味をもたせること」、「英語を生活に取り入れる・洋楽を聞く・映画を英語で観る」などである。

これらの答えもグループ分けにした (図 2 参照)。今回は「リスニング」(「ラジオ」や「映画」含む) は 36 人で一番多い答えであった。次に、「英会話」(28人)、「練習問題」(26人)、「単語」(16人)、「その他」(16人) の順であった。その他の枠には、「留学」や「毎日英語に触れる」といった答えがあった。

図 2：友人の英語能力を伸ばす活動 (複数回答可)

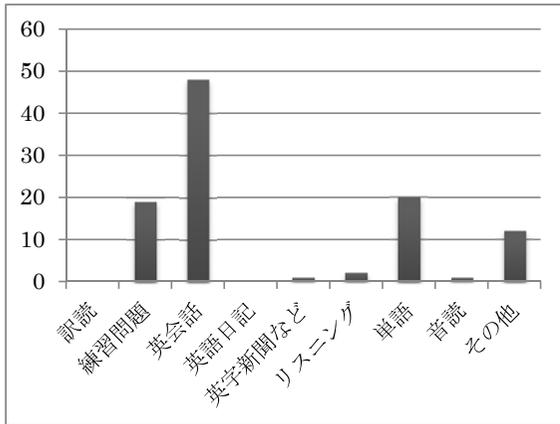


次に、一番重要だと思われる活動について聞いた質問では、「実践的に英語を会話などで使う」といった回答が多かった。必ずしも具体例とはなっていないものもあるが、挙げられた例には以下のようなものが含まれていた：「シチュエーションごとに学ぶこと」、「自分の意見を英語で伝えられること。最終的な目標は英語でコミュニケーションをとることだから」、「文法をしっかりマスターする事。文法がしっかりしていないと会話の文章が成り立たなくなるから」、「英単語をできるだけ多く覚える。単語を知らないとすべてがわからないから」、「何のために英語を勉強してるかはっきりさせておく。単語力がとても大事だと思

う。」

これらの答えもグループに分けて、図にまとめたものを示す(図3参照)。「英会話」は48人の学生が記した答えであり、一番多い答えであった。次に、「単語」が20人、「練習問題」が19人、「その他」が12人の順であった。「その他」の例として、「日常的に英語を使うこと」や「気合」といった記述があった。

図3：一番重要な活動(複数回答可)



以上、「英語力を伸ばす活動」に関する質問に対して、学生は分析的な活動や勉強方法だけではなく、体験的な活動や勉強方法についてもかなり言及していた。しかし、Ogawa & Izumi (2015)でも示されたように、これらの学生は実際上ではかなり分析的な学習に偏った英語の学び方をしてきている。それに鑑みるに、ここで学生が示した回答は、彼らの英語学習に関する理想(本当はすべきはずの勉強法)と現実(実際に経験してきた勉強法)の入り混じったものなのではないかと推測される。現在大学生となった彼らの英語学習に対する考え方はこういったともすると相反する考えの間に存在し、そういった中で自分の現在の立ち位置を把握し、得意分野(例:練習問題)と苦手分野(英会話)を見極め、現状と格闘しているのではないかと推察される。

2. 正確さ vs. 流暢さ

語学学習上、「正確さ」と「流暢さ」のどちら

が大事だろうか。客観的に見ると最終的には両方ということになるだろうが、ここでは学生達が現在どちらが大切だと思うかその意見を聞いてみた。結果、「流暢さ」を選んだ学生が全体の40%に対して、58%の学生は「正確さ」と答えた(図4参照)。これらの回答以外にも、ごく少数だが「どちらも」と「両方」との回答もあった。

図4：正確さ vs. 流暢さ

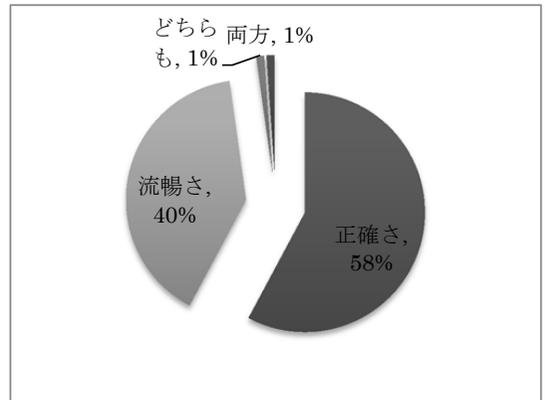


表1に、「正確さ」を選んだ理由とその頻度が示されている。「正確さ」と選んだ学生の中で挙げられた理由として、「正確じゃないと通じないから」(62%)が一番多かった。次に多かった答えは、「順序として、まず正確さが大事だから」(19%)であった。その他、「学ぶ上では正確な方が正しく理解できると思うからです」、「話す上でも書く上でも読む上でも正確にできた方がいいと思うから」などの理由も書かれていた。

表1：「正確さ」を選んだ理由

理由	割合	人数
「正確じゃないと通じないから」	62%	(32/52人)
「順序として、まず正確さが大事だから」	19%	(10/52人)
その他	10%	(5/52人)
理由なし	10%	(5/52人)

表2に「流暢さ」を選んだ理由とその頻度が示されている。「正確じゃなくても通じるから」といった主旨の理由が一番多かった(67%)。次の

で、「順序として、まずは流暢さが大事だから」を理由に挙げた学生が、11%いた。その他には、「正確さは100%というのは難しすぎるから」、「日本語だって正確さなどはあまり気にしないから」といった回答が出された。

表2：「流暢さ」を選んだ理由

「正確じゃなくても通じるから」	「順序として、まずは流暢さが大事だから」	その他	理由なし
67% (24/36人)	11% (4/36人)	8% (3/36人)	14% (5/36人)

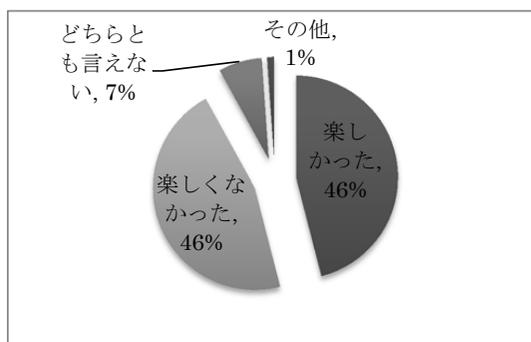
「正確さ」「流暢さ」のどちらの理由でも、それがないと「通じないから」といった理由が一番多かったことが興味深い。ただ、いずれの場合も実際に通じるか否かは、どういった言語項目を問題にしているかということと、さらには課されたタスク次第ということになるのではないかと考えられる。例えば、ハンバーガーショップで“I want hamburger”と冠詞を抜かしていてもおそらくさほど問題なく通じるだろうし、逆にそれだけ言うのに1分も時間をかけて正確に言ったとしても、おそらくまともには聞いてもらえないであろう。また、討論の場で、“I don't divorce because child is no good.”と発言したならば、いくらそれを流暢に言ったとしても、一体どういった意見を表明しているのかをよく分かってもらうことは難しいだろう。今回のアンケート調査では、こういったタスクや言語項目別で正確さと流暢さの重要性については尋ねなかったが、学生が今後様々なタスクを英語で実際に経験する中で、どう意見が変化していくのかが興味深い。今後の研究課題となろう。

3. 高校での英語と大学入試

次に高校英語について質問した。この質問に答えた87人の内、40人(46%)は高校での英語教育は「楽しかった」と答えたが、同人数の40

人(46%)は「楽しくなかった」と答えている(図5参照)。「どちらでもない」は6人、そして「特に思い入れはなかった。英語の教師が産休・入院・退職とところどころ変わったため」と特例の1人もいた。

図5：高校での英語教育

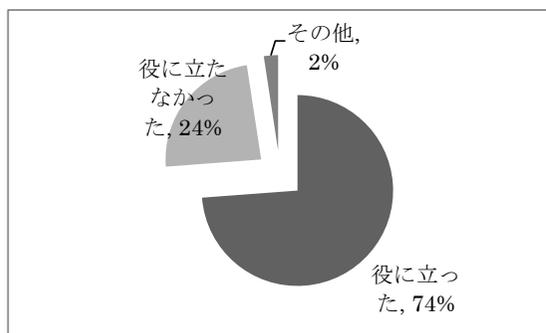


「楽しかった」の理由には、「どんどん理解できるようになるのがわかったから」、「先生が好きだったから」、「新しい言語を使えるようになるから」などのコメントがあった。「楽しくなかった」の理由として、「高校2、3年になってからの授業は楽しくなかった。高校3年になってからの授業は受験に向けた勉強だったので楽しくなかった」、「つまらなかった。高校の授業では文法などが多くスピーキングが少なかったため」、「楽しくない。実用的ではなかったから」などのコメントがあった。受験向けの勉強の内容は、「楽しい」または「楽しくない」と感じるには人によって違う理由は本研究外である。

高校で受けた英語の授業は、大学入試にどのぐらい役に立ったと思われるだろうか。図6に示すように、多くの学生(62人=74%)は「役に立った」と回答している。しかし、「役に立った」の中には「少しだけ」、「ちょっと」、「微妙に役立った」等の回答も含まれている点に留意したい。役に立たなかったとの回答もあったが(20人=24%)、「あまり」という言葉を添えた者も少なかつた。「全く」と書いた者も数人いた。この学生たちは高校英語と大学入試のギャップを感じているようである。だけど、大学入試を合格した結果が出たからであろうが、結局、高校英語は

(少しでも) 大学入試に役に立ったと思っている学生が多い。

図6：高校英語と大学入試



結 論

英語能力を伸ばす活動において、回答者が行った活動と友人に勧める活動には大きな違いがあった。今まで英語能力を伸ばしたと思われた活動の中で一番多かった答えの「練習問題」に対して、友達に進める一番多い答えは「リスニング」であった。さらに、回答者の多くは、英語を学ぶ上で「英会話」が一番重要な活動だと答えた。この結果から、Ogawa & Izumi (2015)で述べたように、学生の理想的な英語学習方法は彼らが実際に経験してきた現実の学習方法とは随分違うものようである。実際上は、分析的な学習に偏った英語の学び方をしてきた学生がほとんどであり、他方、本来はもっと体験的でコミュニケーション的な学習方法を求めている姿が浮かび上がってくる。しかし、英語力を伸ばすのに効果的だと思われる活動は、個人によって違うことも明らかになった。同じく、友人に勧める活動及び一番重要だと思われる活動も様々である。英語学習者には英語を伸ばすのに役立つと思われる活動はたくさんあるが、彼らがなぜそのように思うようになったのかについては、本研究では明らかにされなかった。学習者ビリーフとその起因要因の関係については今後の研究で重要な課題となろう。

また本研究では、英語を学ぶ上で流暢さよりも正確さを選んだ学生が多いことが分かった。その

6割以上は「正確じゃないと通じないから」という理由であった。反対に、流暢さを選んだ回答者の6割以上は「正確じゃなくても通じるから」を理由にした。どちらを選ぶにしても、回答者の多くが「通じる事」を理由にした事から、通じる英語を学ぶのは大事だと回答者の多くが思っていることがわかる。しかし、「通じる」か否かは一般論として捉えるよりも、具体的なタスクの中でこそ初めて分かり得るものであり、その意味で、今後彼らが実際のタスクを経験する中で自己のビリーフをどう発展させていくのか興味深い。上記の結果は、おそらくこれまでの彼らの学習体験を大きく反映したものとして捉えられようが、それがどう変わるか否かは現在の、そしてこれからの学習体験によって大きく変わるであろうと考えられる。

高校での英語教育については、楽しんだ学生と楽しんでいなかった学生は半々に分かれた。受験向けの勉強の内容は「楽しい」と感じる学生もいれば、「楽しくない」と感じる学生もいて、今後の研究テーマになれる。高校英語が大学入試に役に立たなかったと答えた学生は4人に1人近くもいたことは気になることである。だが、多くの学生は役に立ったと感じている。高校英語と大学入試のギャップを感じている学生もいるだろうが、多くの学生はそう思っていないのは大学入試を合格できたからであろう。

最後に、大多数の回答者がほとんどの質問に対してコメントを書いた事からは、本人たちは質問の内容に興味を持ち、自分の声を聞いてもらいたいと思っているように感じられた。学生の意見を聞く事は、「学生の英語力を伸ばす活動」、「正確さと流暢さ」、「高校での英語と大学入試」の関係の問題についての理解が高まる一つの重要な方法であるため、今後も学生の意見を聞く研究も望ましい。

謝辞：ここに共同研究者である上智大学の和泉伸一氏の協力に感謝の意を表したい。

引用文献

和泉伸一、小川エリナ (2014)、「英語学習のピリーフ、学習方法、そして獲得した自信度について」[学会発表]、東洋大学人間科学総合研究所の異文化理解と外国語教育の2014年度のシンポジウム、2014年8月15日

Izumi, S, Shiwaku, R., & Okuda, T. (2011). Beliefs about language learning, learning strategy use, and self-efficacy/confidence of EFL learners with and without living-abroad experience. *Sophia Linguistica*, 59, pp.151-184.

Lyster, R., & Mori, H. (2006). Interactional feedback and instructional counterbalance. *Studies in Second Language Acquisition*, 28, 269-300.

Mills, N. (2014). Self-Efficacy in Second Language Acquisition. In S. Mercer & M. Williams (Eds.), *Multiple Perspectives on the Self in SLA* (pp. 6-22). Bristol: Multilingual Matters.

Ogawa, E. & Izumi, S. (2015). Belief, Strategy Use, and Confidence in L2 Abilities of EFL Learners at Different Levels of L2 Proficiency. *Japan Association of College English Teachers Journal*, 59, 1-18. 「大学英語教育学会紀要 (59号、1-18)」

Sinthujaa, S. & Cement, R. (2014). The Dynamics of Second Language Confidence: Contact and Interaction. In S. Mercer & M. Williams (Eds.), *Multiple Perspectives on the Self in SLA* (pp. 23-40). Bristol: Multilingual Matters.

Yang, N. D. (1999). The relationship between EFL learners' beliefs and learning strategy use. *System*, 27, 515-535.

アンケート用紙の質問と回答

以下にはアンケート調査の最後にあたる6つの質問とその回答を掲載する。答の右側に記している番号は回答者番号である。番号がない場合は、その質問に対して空欄だったことを意味する。

(79) これまであなたが英語を学ぶ中で、どのような活動が自分の英語力を伸ばす上で役立ったと思いますか。有効だったと思われる活動を全て書いて下さい (例: 訳読、練習問題、英会話、英語で日記をつけること、英字新聞を読むこと)。

1. 訳読問題集をとく - 1
2. 練習問題・英語の文長を読む - 2
3. 英会話 - 3
4. 英会話・英語で映画を見る・楽しくできる - 4
5. 先生が話す英語を注意深く聞くこと・読解問題を解く - 5
6. 英文法の基礎をしっかりと押さえて英文を数多く読んだことがとても役立ちました - 6
7. 日常会話などのコミュニケーションを活かした授業がとても効果的であった - 7
8. 音読・口に出して読むことが一番頭に入りました - 8
9. リスニング - 9
10. 音読・訳読 - 10
11. 英単語・英熟語・暗記・訳読 - 11
12. 訳読・文法の練習 - 12
13. 音読・教科書を自分なりに訳す - 13
14. 単語の暗記・見たとき聞くとときになんとなく理解できるようになる - 14
15. 英語長文の全文日本語訳をする。文法問題を解く - 15
16. 文法練習・単語や熟語の暗記 - 16

17. 単語帳・練習問題・文法 - 17
18. 英字新聞を読む - 18
19. 英文法の問題練習 - 20
20. リスニング・文章を読むこと - 21
21. 英文を読んだり聞いたり - 22
22. 単語 - 23
23. 受験勉強 - 25
24. 高校1年生の時に中学英語を総復習して基礎をしっかりとさせてから文法問題や単語・長文をしていった - 26
25. 一日一題長文を読んで問題を解く。文法書をひたすらくり返し - 27
26. 外国人とのコミュニケーション - 28
27. 練習問題・訳読 - 29
28. 英単語の暗記・文法の理解・練習問題 - 30
29. 英語で書かれた文章を読むこと (日本語で書かれていたとしても勉強になるような文章)、ラジオを聴く - 31
30. 英文をすべて自分で日本語に訳すこと - 32
31. 辞書をあまり開かず英字新聞や会話で難しい単語・文章表現があったとしても推測を行いながら文章の内容を把握する事。発信型英語 (他人と意見を交わす英語) - 33
32. 和訳・練習問題 - 34
33. 英語を話す人と英語で話すこと。文法を理解すること。英語に耳が慣れること - 35
34. リスニング - 36
35. 訳読してから音読すること - 37
36. 英会話 - 38
37. センター過去問 - 39
38. 英語のリスニング - 40
39. 音読 - 41
40. 英会話→アクセント (発音) - 43
41. シャドイング・文法理解・映画を英語字幕で見る - 44
42. 単語を覚えること - 45
43. 英単語帳を熟読すること - 46
44. 受験勉強 - 47
45. 読解力。英語で全ての文法や長文を教えること - 49
46. シャドイング・only Englishでの授業・ネイティブの人と話す - 50
47. 英単語の一つの意味だけでなく多様な意味で覚える・英語の長文を読む - 51
48. 英語の映画をよく見てた - 52
49. 英文法の問題をひたす解き、文型を意識しながら英文を読むことで英単語さえわかればある程度訳せる自信につながった - 53
50. 練習問題を解いて文法を学び洋画を音声のみ英語にした - 54
51. 英文を節で区切り一節ずつ訳を考えて左から右に訳して読んでいく - 55
52. 単語・暗記 - 56
53. 速読・単語 - 57
54. 英語を好きになること - 58
55. 英文和訳 - 59
56. 音読 - 60
57. 外国の友人との SNS を使った交流 - 61
58. 単語や熟語の暗記文法の正しい理解 - 62
59. リスニング - 63
60. 英語で書いてあるものを読む・一度読んだものを再び読む - 65
61. 訳読・練習問題 - 66
62. 文法問題 - 67
63. 練習問題・訳読 - 68
64. 英単語・英文和訳 - 69
65. 英語で日記など文章を書くこと - 70
66. 文法・単語・ひたすら問題を解く - 71
67. 単語帳を使い英単語を覚える。英文を読む - 72
68. 精読・訳・リスニング・文法 - 73
69. 2日に1回新しい文章を読ませられた。1回読んだことある文章を何回も読んだ - 74
70. 問題演習・英語を聞くこと・英会話・単語を覚える - 76
71. 参考書などの英文を訳すこと - 78
72. 英文を和訳・英会話・英語の長文を読む・練習問題 - 79
73. 文法書を使ってひたすら練習 - 80
74. 英会話に通ったこと - 81
75. 練習問題・英会話 - 82
76. 単語テスト・練習問題 - 83
77. 練習問題・英文を読むこと・リスニング問題を解くこと - 84
78. ある程度の単語力・基本の文法 - 85
79. 英単語・訳読 - 86

80. 訳読・単語・文法-87
 81. 自分の興味のある文章を和訳する・外国へ行って英語で会話をする-88
 82. スピーチテスト。自分で英文を作る力がついた-89
 83. 英語をたくさん聞くこと。洋楽を聞いたり映画は吹き替えではなく音声は英語にする-90
 84. 英文和訳-91
 85. 人前でのスピーチ・ステレオタイプ・異なる意見を聞くこと-92
 86. 外国の人と英語で交流すること・文法の参考書などを解くこと-93
 87. 英会話・練習問題・英語で映画を見る(字幕)-94
 88. 海外の音楽を聴き、歌詞を和訳したりPCなどで海外の友達をつくったこと-96
 89. リスニングをする・単語を覚え語彙力をつける-97
 90. 英語で授業を受けること-98
 91. 長文を読んでその中で今まで覚えた文法・単語・熟語の復習-99
 92. 復習・練習問題-101
 93. 自分の意見を英語で書くこと-102
 94. 受験勉強-103
 (80) あなたの友達は英語に自信がないとします。その友達の英語力を伸ばすために、どのような活動を勧めますか。有効だと思われる活動を全て書いて下さい(例:訳読、練習問題、英会話、英語で日記をつけること、英字新聞を読むこと)。
1. 新聞・問題集・英会話・留学-1
 2. 英語の文章を読む・英単語を学ぶ-2
 3. ネイティブと会話する-3
 4. 英会話・英語で映画を見る-4
 5. 練習問題をやって読むのに慣れる・ラジオを聞いて慣れる-5
 6. 練習問題などをたくさん解き映画やCDなどで聞く練習をすること-6
 7. 文法など基礎を身に着ける。リスニングや音読をする-8
 8. 留学-9
 9. 音読-10
 10. 英会話・リスニング・新聞-12
 11. 一緒に話す・音読-13
 12. 英語→日本語の翻訳-14
 13. TOEICの勉強、英検の勉強-15
 14. 文法練習・単語や熟語の暗記。英語で音楽を聴いたり、英語を読んだりする-16
 15. 単語帳・練習問題・文法-17
 16. 参考書を薦める-18
 17. 文法をやらせ、会話をさせる-20
 18. 英語圏に行く-21
 19. 英文を読む-22
 20. まず自信をつけさせる-23
 21. 基礎の英語・文法をマスターする事-25
 22. 基本的な文法をまず練習し、いろいろな練習問題に取り組む-26
 23. 英会話・リスニング-27
 24. 訳読-28
 25. 練習問題-29
 26. 単語の暗記、文法の理解、練習問題-30
 27. 英会話・単語を覚える・英語を話す友達を作る-31
 28. 英文和訳・和文英訳-32
 29. その人のレベルに合わせた問題集をやらせていき、自信をつけさせ英語に興味をもたせること-33
 30. シャドウイング・英会話-34
 31. 簡単な英語で書かれた文章。文法を細かく分解して読むこと-35
 32. 普段から英語で会話する-36
 33. 単語を覚えるかひたすら英文を読む-37
 34. 英会話-38
 35. センター過去問-39
 36. 英会話-40
 37. 音読-41
 38. 英会話、外国の人と話す-43
 39. シャドウイング・文法-44
 40. 映画を見る-45
 41. 練習問題を解いたり訳読する-46
 42. 物語を和訳する-47
 43. 単語から-49
 44. リスニング(自宅で英語を聞く)・友達と英語を使って話す(英語の授業内等、なるべく only English にする)・ネイティブの授業をとる-50
 45. 英単語を多く覚える・英文を平日頃から読むようにする-51
 46. 英会話-52
 47. 文型を振り分けさせて文法を学ばせる-53
 48. 英語を聞くために好きな映画を英語で観る-54
 49. 英文を節で区切り、一節ずつ訳を考えて左から右に訳して読んでいくもの。練習問題-55
 50. 英語で映画、洋楽、リスニング-56
 51. 英会話-57
 52. 単語を1日に最低10個は覚えること-58
 53. 毎日英語に触れる-59
 54. 音読・文法暗記-60
 55. 問題をたくさんやるしかないと思う-61
 56. 英語の音声の映画を繰り返し見る-62
 57. 訳読-63
 58. 単語を覚えさせる。英語を聞かせる-65
 59. 英文を読む-66
 60. 1日1文3行程度の英文を訳す-67
 61. 練習問題・英会話-68
 62. 単語・英文和訳-69
 63. 毎日日記を英語で書く-70
 64. 文法・単語・長文を解く-71
 65. 単語を覚えるようにする。外国に行く-72
 66. リスニング・英会話・文法-73
 67. 音読すること-74
 68. 英語を聞く機会を多くする。英会話-76
 69. 英会話に行くことを薦める-78
 70. 練習問題・英会話-79
 71. ネイティブの人と友達になることを薦める-80
 72. 互いに英語で話すこと-81
 73. 練習問題・英語-82
 74. 英語で日記をつける・携帯電話の言語を英語にする-83
 75. 練習問題-84
 76. 単語・リスニング(音楽・映画)-85
 77. 英会話・訳読-86
 78. 海外に行くこと-87
 79. リスニングや音読-88
 80. 英会話・リスニング-89
 81. 英語を生活に取り入れる・洋楽を聞く・映画を英語で観る-90
 82. 速読-91
 83. 字幕なしで洋画を見ること・単語をたくさん覚えること-93
 84. 英会話・英語で音楽を聴く・映画を見る・練習問題-94
 85. 英語がもっと好きになるようにしてもらおう。音楽の和訳など楽しんで勉強する-96
 86. リスニング-97
 87. リスニング-98
 88. 東京にいるとしたら外人がいる場所へ行くことを薦める-99
 89. 練習-101
 90. 英会話をする-102
 91. 洋画-103
- (81) 英語を学ぶ上で、あなたは何が一番重要だと思いますか。それはなぜですか。(例:文法をしっかりマスターすること、ネイティブスピーカーと話すこと)。
1. シチュエーションごとに学ぶこと-1
 2. 英語を話せる人と英語で話す-2
 3. 会話。やはり英語は言語なので話すために作ってこそ意義がある-3
 4. 日常的に英語を使うこと・昔短期留学をした時が一番英語を学べていたと思うから-4
 5. 自分の意見を英語で伝えられること・最終的な目標は英語でコミュニケーションをとることだから-5
 6. ネイティブスピーカーと話すことや多くの英語を聞くこと-6
 7. 文法をできるようにするのはライティングもリスニングもできるようにする基礎だと思います。最終的には、英語で会話できるようになることが重要だと思います-8
 8. ネイティブスピーカーと話すこと。発音も自然と似てくると思う-9
 9. 英文を声に出して話すこと-10
 10. しっかりとした英語を話せるようになること-12
 11. 英語が話せる人と話す-13
 12. 単語を覚えること。言葉にしる文字にしる話の大筋は単語で理解できるから-14
 13. 問題が解ける事-15
 14. 文法をマスターすること。英作文ができるようにする。その後に英会話の練習をすることが重要だと思う-16
 15. 単語暗記。単語を知らないとどうしようもないから-17
 16. 単語力-18
 17. 文法をしっかりマスターする事。文法がしっかりしていないと会話の文章が成り立たなくなるから-20
 18. ネイティブスピーカーと話して本物を知る事。色々なニュアンスなどが浸透していくから-21

19. ネイティブスピーカー - 22
 20. 気合 - 23
 21. 単語や文法をしっかりマスターしたうえでたくさん英会話すること - 25
 22. 文法をしっかりマスターする事。小さなときから英語にふれる - 26
 23. 相手と意思疎通できること。日常会話が話せること - 27
 24. ネイティブスピーカーと話すこと。自然と英語を覚えられるから - 28
 25. 問題を解く上では文法をしっかりと理解するのは大事だと思うけど話すうえでネイティブの人と話したり聴くことが大事だと思う - 29
 26. ネイティブスピーカーと話すこと - 30
 27. ネイティブスピーカーと話すこと - 31
 28. 単語や文法を学んだとしても、ただ学ぶだけでなく人に説明できるまでにする。説明できるということはきちんと理解できているということだから - 32
 29. 書く、話す、聞く、読むの4つの要素を鍛える事 - 33
 30. 聞くこと・話すこと。聞かれないと何を言っているのかわからないから。話さないと思えば伝えずらいから - 34
 31. 試験においても (TOICE 等) スコアを取れること (話せるだけじゃなく) - 35
 32. 実際に口に出して話すこと - 36
 33. 単語・文法を覚えること - 37
 34. 英会話 - 38
 35. 簡単な会話ができること - 38
 36. 英語圏の人と話すこと - 40
 37. 単語を覚えること - 41
 38. 書くことよりも口に出して話す方が早く習得でき正確に覚えられる - 43
 39. 文法理解 - 44
 40. 単語を読める、書ける、開けるようになること - 46
 41. 文法。全ての基本だから - 47
 42. 英語とたくさん触れること - 49
 43. ネイティブスピーカーと話す (リスニングとスピーキングの両方が鍛えられる多少の文法は気にしなくても大丈夫) - 50
 44. 単語と熟語を覚える - 51
 45. 単語を覚える。単語がわからないと話にならないと思う - 52
 46. 文法と文型をしっかりマスターすること。中国人が英語を覚えるのがかなり早かったり日本人が韓国語を覚えるのが早いといわれるように文型と文法さえわかればあとは単語を覚えればいいと思うから - 53
 47. 英会話。世界中の人々と触れ合えるから - 54
 48. 単語力・文脈を読む力。これがないと何もわからないと思うから - 55
 49. 英語でコミュニケーションが取れる - 56
 50. 話すこと。自信につながるから - 57
 51. リスニング実際に英語を聞いたほうが吸収されやすいから - 58
 52. ネイティブスピーカーと話す - 59
 53. 文法をマスターすること - 60
 54. 英語で話をして外国の方に伝えるようにしなくてはいけないのでスピーキングが一番重要である - 61
 55. とりあえずたくさんしゃべりたくさん英語を聞く - 62
 56. 話したり、聞いたりすること - 63
 57. 留学・習うより慣れる - 64
 58. ネイティブと話すこと - 65
 59. 英語で会話ができること - 66
 60. 音読 - 67
 61. 文法をしっかりマスターすること - 68
 62. 単語を知っていること (知らないで始まらないから)・話すこと (慣れたと思うから) - 69
 63. 文法を覚えること。文法が理解できていなければ書くことも話すこともできないから - 70
 64. 繰り返すこと - 71
 65. 英単語をできるだけ多く覚える。単語を知らないとすべてがわからないから - 72
 66. 文法をきちんと学ぶ事。単語を覚えること。ネイティブの方と話すにしても文法がわからないとだめだから - 73
 67. リスニング活動を自分でしっかり行うこと - 74
 68. 相手にしっかり伝わるように単語・文法を覚える - 76
 69. ネイティブに近い環境で英語を練習すること (英語を話さなければならぬ状況にすること) - 78
 70. 単語・文法 - 79
 71. ネイティブスピーカーと話すこと。これからの生活で役立つかわからない - 80
 72. 書けずとも話せること - 81
 73. 文法をしっかりマスターする事。文法ができていなければ長文をよむことができないから - 82
 74. 単語をできるだけ覚えて自分の言いたいことを伝えられるようにすること - 83
 75. 練習をつまかさねること - 84
 76. 英語に慣れること。英語に触れない期間を長く作らないこと - 85
 77. 正確にわからなくても英語を使ってみること - 86
 78. 文法をできて単語がわかること - 87
 79. 単語を勉強すること・正しく発音して会話をする - 88
 80. 英語を聞いて口に出すこと - 89
 81. たくさん英語でのコミュニケーションをとること - 90
 82. 文法。基本が大切 - 91
 83. ネイティブスピーカーと話すこと - 92
 84. 単語をたくさん覚え英語で会話する機会を増やすこと - 93
 85. 人と話すこと。実際に話して身につける - 94
 86. 何のために英語を勉強してるかははっきりさせておく。単語力がとても大事だと思う - 96
 87. ネイティブスピーカーと話すこと。文法だけでは学べないこともたくさんあるしその方が役立つと思うから - 98
 88. ネイティブスピーカーと話すこと - 99
 89. 単語と理解 - 101
 90. 英語に慣れること - 102
 91. 文法 - 103
 (82) 英語を学ぶ上で、あなたは「正確さ」と「流暢さ」のどちらがより大切だと思いますか。その理由は何ですか。
 「正確さ」
 「正確じゃないと通じないから」
 1. 相手に伝わらないと意味がないから - 3
 2. 学ぶ上では流暢さはそこまで重視しない。正確さは伝わらなくては意味がないのである程度心がける - 4
 3. 流暢でなくても伝われば良いと思う - 5
 4. どれだけ流暢に英語を話しても英語は言語なので伝わらなければ意味がないと思う。なので、正確さの方が大切だと思う - 10
 5. 間違った英語だと正確に伝わらないから - 12
 6. まずは正確に話さないと思わないと思う。ゆっくりでも正確に話せば理解してくれる - 13
 7. 伝わらなければ言語として意味を成さないから - 14
 8. 正確じゃないと話が通じないから - 15
 9. いくら流暢でも正確でなければ相手に伝わらないから - 16
 10. 物事を相手にまず伝えることが大切だと思うから - 18
 11. 相手に伝えることが大事だから - 25
 12. 他人に自分が言いたいことを伝えることがコミュニケーションの役割であるから - 33
 13. 流暢があっても伝わらないものは伝わらないから - 34
 14. 情報を早く伝えるより正しく伝える方が大事だから - 37
 15. 伝わるから - 39
 16. 伝わらないと意味がないから - 44
 17. 伝わるかどうか大事だと思うから - 45
 18. そっちのほうが伝わりそうだから - 47
 19. 自分の伝えたいことをしっかりと伝えることが大切だと思うから - 54
 20. アクセントが正確でないと相手に伝わらない上に似たような発音を認識した方が理解しやすから - 58
 21. 相手に伝わらないと意味がないから - 59
 22. 正しい文法なら相手に伝わるから - 63
 23. 話したいことがちゃんと伝わらなければ意味がないから - 69
 24. 流暢に話せないのはネイティブではないので当たり前だが正確でない英語は伝わらないから - 70
 25. 流暢じゃなくてもゆっくりでも正確に学べば相手に通じると思うから - 71
 26. 流暢でなくても正確であれば意味を理解することができるから - 72
 27. どんなにスラスラ話せても相手にしっかりと自分の伝えたいことが伝わらなかつたら意味ないから - 74
 28. 正確ならば、間違えることなく聞き取ってもらえると思うから - 76
 29. 流暢に喋れても間違った英語を話しては伝わらないから - 78
 30. 相手に自分の意見をわかってもらうためには正確さが必要だと思う - 87
 31. きちんとした文法を学べば自然と応用の力もつくと思うから - 91
 32. 正しくない英語を使っても伝わらないと思う - 94
 「順序として、まず正確さが大事だから」
 33. 正確に学ぶ事で自信がつくと思うから - 6
 34. 正しいのからはくずせるから - 17
 35. 基礎から間違えて覚えていたらその後に影響がでるから - 26
 36. 正確さは試験において大切で、正確であれば「流暢さ」も補うことができる - 35
 37. 間違った英語を覚えなないため - 43
 38. 正確にしたうえで流暢になればよいと思う - 46
 39. まずは正確に覚えることから始めないと何も始まらないから - 51
 40. 初めは「正確さ」基礎をしっかりしていなければダメだと思うから - 55
 41. 正確にできれば流暢にできるようになる - 62
 42. 流暢さはあとから自然とついてくるものなのでは - 80
 その他
 43. その中にその地の文化を学ぶ事も入っていると思うから - 1

44. 学ぶ上では正確な方が正しく理解できると思うからです - 5 3
 45. いくら流暢に話せても間違っていたら意味ないから - 6 0
 46. 話す上でも書く上でも読む上でも正確にできた方がいいと思うから - 8 2
 47. 単語が理解できれば何とかなる - 1 0 3
 理由なし
 48. 「正確さ」 - 7 9
 49. 「正確さ」 - 8 4
 50. 「正確さ」 - 8 9
 51. 「正確さ」 - 9 7
 52. 「正確さ」 - 1 0 1
「流暢さ」
 「正確じゃなくても通じるから」
 53. 正確さが欠けていてもジェスチャーなどで通じる場合もある - 4 9
 54. モゴモゴしゃべっていると聞き取りづらく伝わらない - 5 0
 55. 間違っても違和感なく話す方が大事だと思います - 2
 56. 正確さも重要だと思うけど流暢さでも英語は伝わると思うのでコミュニケーションをとるのは流暢さのほうが重要 - 8
 57. 正確さに捉われて話がスムーズにいかないなら多少間違っているでも流暢に話した方が理解できると思う - 9
 58. 伝わらない事には意味がないから - 2 2
 59. 多少、文法が違っていても大体話は通じるから - 2 7
 60. 最終的にはコミュニケーションの時に必要となるためなめらかに喋れた方がいいと思う - 2 8
 61. あまり正確でなくても伝わると思うから - 2 9
 62. 正確に文法を理解していることはもちろん重要だけれど通じないといみがないから - 3 1
 63. 間違っているでも伝われば OK - 5 6
 64. 正確でなくても通じるから - 5 7
 65. 正しくなくてもニュアンスが伝わればよいから - 6 1
 66. ちょっとくらい間違っても通じる - 6 4
 67. なんとなく伝わればよい - 6 5
 68. 会話を成り立たせるため - 6 6
 69. 外国など実戦で使うときは流暢さの方が重要だと思います - 6 8
 70. 身振り手振りでできればある程度伝わるから - 7 7
 71. 言いたいことが伝われば正確じゃなくてもいいと思うから - 8 5
 72. 正しい発音で正しい単語を覚えればコミュニケーションの面では十分だと思う - 8 8
 73. 正確ばかり求めては会話が成り立たないし英語力が伸びないから - 9 0
 74. 文法などが正確すぎなくても外国の人に伝えようとしていることがしっかりと話すことで伝わることとおおいので - 9 3
 75. 人と話すときは文法は間違っても伝われば良いと思うから。スラスラ話せるほうがいい - 9 6
 76. 流暢な方が多少間違えても話す上でのテンポは悪くならないから - 9 9
 「順序として、まずは流暢さが大事だから」
 77. 流暢に話していれば徐々に正確さもついてきそうだから - 2 1
 78. 流暢さを得るのには時間がかかると思うから - 3 2
 79. 正確さは後で直せると思う - 9 8
 80. 正確であることよりはより難しいから - 1 0 2
 その他
 81. 正確さは 100% というのは難しすぎるから - 3 6
 82. 日本語だって正確さなどはあまり気にしないから - 4 1
 83. 正確に読んだところで伝わらないイメージがある - 6 7
 理由なし
 84. 「流暢さ」 - 3 0
 85. 「流暢さ」 - 4 0
 86. 「流暢さ」 - 5 2
 87. 「流暢さ」 - 7 5
 88. 「流暢さ」 - 8 1 両方
 89. どちらも - 2 3
 90. 両方 - 9 2
 (83) 高校で英語を勉強することは楽しかったですか。また、それはなぜですか。
楽しかった
 1. 楽しかった。単語のイメージとかを覚えるのが楽しかった - 1
 2. 楽しい。先生が面白かったから - 3
 3. みんなで英語の問題を解いたりしてたから楽しかった - 4
 4. 楽しかった。どんどん理解できるようにするのがわかったから - 6
 5. 楽しかったです。高校では英語の授業が一つだけではなく四つありました。それぞれの授業で色々なことを学ぶ事ができ、様々な方法で学べ

- たので楽しかったです - 8
 6. 楽しかった。色々知れた - 9
 7. 楽しかった。受験に向かってとても勉強できたから。高校の頃は夢があったから - 1 5
 8. 思うように点数がとれたから - 1 7
 9. 楽しかった。まあまあできていたから - 2 3
 10. 楽しかった。一緒に勉強する人たちがよかったから - 2 5
 11. 楽しかった。新しいことをたくさん学べたから - 2 6
 12. 楽しかった。いろんな話を読めたから - 2 8
 13. わからないことだらけなりに楽しかった。先生が好きだったから - 2 9
 14. 楽しかった (どちらかといえば) 覚えれば覚えるほど成績に結果が反映されるから。けれど、これで本当の英語力になるのかと疑問に思ったこともあった - 3 1
 15. 様々な多くの問題を解いていって自分で考えていく機会がたくさんあって、英語力が上がっていくしかもとても楽しいものである - 3 3
 16. 楽しい実際に外国の人と話すのは楽しいから - 3 6
 17. 周りに帰国子女がたくさんいたのでその人たちの発音を聞いたりしている楽しかった - 3 7
 18. 楽しかった。教え方が非常に上手な先生だったから - 4 1
 19. 楽しかった。テストでいい点とれるから - 4 3
 20. 洋画や洋楽が好きでその理解になったので楽しかった - 4 4
 21. 楽しかったです - 4 5
 22. まあまあ楽しかった。問題のパターンを暗記するだけでよかったから - 4 6
 23. 楽しかった。英語が好きだから - 4 7
 24. 楽しかった。英語の先生が楽しかった - 5 0
 25. まあまあ楽しかった。先生が面白かったから - 5 1
 26. 楽しかった。理解できたから - 5 7
 27. 楽しい。自分の幅が広がる - 5 9
 28. 楽しかった。できたから - 6 0
 29. 楽しかった。先生が独特な人で面白かった - 6 5
 30. 楽しかった。新しい言語を使えるようになるから - 6 6
 31. 楽しかった。先生がよかったから - 7 4
 32. 楽しかった。ネイティブの先生の授業があったりしたから - 7 6
 33. 少しだけ楽しかった。わからなかった英文が読めるようになったから - 7 8
 34. 受験期は楽しかった。勉強した分成績が上がっていくさまがうれしかった - 8 0
 35. 楽しかった。多くの本を使い課題を出され読んだため - 8 1
 36. 楽しかった。先生が面白い先生で教え方も上手だった - 8 2
 37. 楽しかったです。わかりやすかったからです - 8 4
 38. 楽しかった。全然できないうけど単純に好きだから - 8 5
 39. はい。自分の知らない言語をたくさん覚えることができるから - 9 3
 40. とても楽しかった。英語が一番好きだった。自分が英語が好きだったからかもしれない - 9 6
楽しくなかった
 41. あまり楽しいとは言えない。一方的に話を聞くだけだったから - 5
 42. 高校 2、3 年になってからの授業は楽しくなかった。高校 3 年になってからの授業は受験に向けた勉強だったので楽しくなかった - 1 0
 43. 楽しくなかった。苦手分野だったから - 1 2
 44. あまり楽しくなかった。教科書を和訳するか、英文法の練習問題をひたすら解いていたのでリーディングはできるがスピーキングが上達していない - 1 3
 45. 楽しくはなかった。文法や単語の量が果てしなく多いのでやる気があまりでなかったため - 1 6
 46. 楽しくない。固い文法ばかりやっていたから - 1 8
 47. そんなに楽しくない。授業がワンパターンだったから - 2 1
 48. つまらなかった。会話というより受験英語だから - 2 2
 49. 楽しくなかった。苦手だったから - 2 7
 50. 楽しくなかった。身につくものがなかった - 3 0
 51. 特に楽しくはなかったが、周りにおいて行かれるのは嫌だったのである程度は勉強した - 3 2
 52. 楽しくはなかったが他の科目 (数学や化学) から相対的にみると好きであった - 3 5
 53. 楽しくない。よくわからなかったから - 3 9
 54. いいえ。退屈でつまらないから - 4 9
 55. 楽しくなかった。文法問題ばかりやってきて話すチャンスあまりなかった - 5 2
 56. 楽しくありませんでした。問題演習ばかりで自分の意見を英語で言う方が好きだったので退屈だったから - 5 3
 57. 楽しくなかった。理解する前に先に進められたから - 5 4
 58. つまらなかった。先生の自己満足授業だった - 5 6
 59. 高校時代は成績が悪かったので楽しくはなかった。しかし大学で英語を勉強していくうちに自主的に TOICE に興味がでた - 5 8
 60. つまらなかった。高校の授業では文法などが多くスピーキングが少なかったため - 6 1
 61. 楽しくなかった。先生が好きではなかった - 6 2
 62. 楽しくなかった。理解できなかつたから - 6 3

63. 楽しくない。実用的ではなかったから - 6 4
 64. あまり楽しくなかった。進学校だったので受験対策が多かったから - 6 8
 65. 楽しくなかった。苦手だったから - 6 9
 66. 楽しくなかった。英語がしっかり理解できていなかったから - 7 0
 67. いいえ。レベルが低すぎた - 7 1
 68.それほど楽しくなかった。基礎ができていなかったので授業がよくわからなかったから - 7 2
 69. いいえ - 7 7
 70. 楽しくなかった。英語が嫌いだから - 7 9
 71. あまり楽しくはなかった。難しかった - 8 7
 72. あまり楽しくなかった。興味のない文章を読まされたり、難しい単語を暗記するのはつらかった - 8 8
 73. つまらなかった。先生が嫌いだったから - 8 9
 74. 楽しくなかった。テキストを読むだけだったから - 9 0
 75. あまり楽しくなかった。丸暗記ばかりだったから - 9 1
 76. あまり楽しくなかった。座ってひたすら文法。みたいな授業だった - 9 4
 77. 楽しくなかった。勉強量が多くついていけなかった - 9 8
 78. 全く楽しくなかった。意味が分からない点が多すぎたから - 9 9
 79. 楽しくない。わからなかったため - 1 0 1
 80. いいえ。文法ばかりだった - 1 0 3
- どちらとも言えない
 81. どちらともいえない。英単語など覚えることが多くて億劫でした - 2
 82. どちらとも言えない。勉強させられすぎて大変だったから。でも理解できるようになったから - 3 4
 83. 普通 - 3 8
 84. とくに - 5 5
 85. どちらでもない - 6 7
 86. 普通だった。文法が難しいと感じたため - 1 0 2
- その他
 87. 特に思い入れはなかった。英語の教師が産休・入院・退職どころころ変わったため - 1 4
 (84) あなたが高校で受けた英語の授業は、大学入試にどのぐらい役に立ったと思いますか。その理由は何ですか。
- 役に立った
 1. 理解するのに役立った。教科書が英語だけでも読めた - 1
 2. 全てが役に立ったと思います。授業さえやっていればいいと思います - 2
 3. 結構役に立った。長文の読み方をわかりやすく教えてくれたから - 3
 4. 大学入試に向けて勉強していたから結構役に立ったと思う - 4
 5. 役に立った。入試に向けた文法や読解の授業だったから - 5
 6. とても役に立った。多くの英文に触れることができたから - 6
 7. 大いに役に立った。受験対策の授業だったから - 9
 8. 高校の授業のリスニングは役に立った。毎日英語を聞くことが大切だから - 1 0
 9. 入試に成功するくらい役に立った - 1 2
 10. 大学入試が英語の文章を読むときぐらい - 1 3
 11. 5割ぐらい。英語に触れる機会をふやしてくれたから - 1 4
 12. 英文法などはそれなりに役に立ったと思う - 1 6
 13. 6. 7割。解答を見つけやすかった - 1 8
 14. まままあ役に立った。文法など細かい指導があったし、リスニングも積極的に行われていたから - 2 1
 15. 微妙に役に立った。センターよくできなかったから - 2 3
 16. 役に立った。授業では基礎を学ばし、対策もしてくれたから - 2 5
 17. 役に立った。大学入試で英語の試験は不安に思うことがあまりなかったから。英語は高1のころから受験勉強をはじめたから - 2 6
 18. 大学受験に一切対応できるくらいまでになったから比較的役に立った - 2 7
 19. 役に立った。文法をたくさんやってたから - 2 8
 20. 入試には役に立ったと思う。なぜなら入試に照準をあわせた授業だったから - 3 1
 21. かなり役に立った。高校の授業は大学入試に向けての授業だったから - 3 2
 22. 決まりきったパターンをしっかりと把握することが少し受験で良い点数を取るために重要であるから - 3 3
 23. かなり役に立ったと思う知識的にはかなり覚えたから - 3 4
 24. 100%役に立った。英語の授業は試験に向けた構成がされていた。また、授業外の学校での活動(英語に特化した部活動)も役に立ったと思う - 3 5
 25. 役に立った。長文読解に力を入れていたから - 3 6
 26. 英語コースにいたので英語に関してはかなり勉強させられ受験にもとても役に立ちました - 3 7
 27. 多少役に立った - 3 9
 28. ちょっと - 4 0
 29. 非常に役に立った。英語は得点源だったから - 4 1
 30. 役に立ったと思う。より幅広い英語力が学べた - 4 3
 31. ある程度。点を取るということに関して重点的に行われていたから - 4 4
 32. そこそそ役に立った - 4 7
 33. だいぶ役に立った。大学入試は基本が長文だったので高校の授業でやっていることと同じだったから - 5 0
 34. 70%くらい。文法と単語・熟語は入試(センター)レベルだったが長文は1ランク下のレベルの長文だったため - 5 1
 35. 100%役に立った。大学入試はほぼ文法問題だった - 5 2
 36. 大いに役に立った。文法には自信があったのでそれが励みになった - 5 3
 37. まままあ役に立った。練習問題をたくさん解いたから - 5 4
 38. ものすごくわかりやすかった - 5 7
 39. 先生方は毎回わかりやすく授業をしてくださったのでとても役に立ったと思う - 5 8
 40. とても役に立った。文法や英文和訳ができるようになった - 5 9
 41. かなり役に立った。一度やってみたら楽になったから - 6 0
 42. すこしは役に立った。文法はテストでは必ず出たので習って損はなかった - 6 1
 43. ある程度役に立った。多少の文なら理解できるから - 6 3
 44. わりと役に立った。単語の暗記や長文読解がメインだったため - 6 5
 45. 50%音読を多くやる授業だったので読むことに慣れた - 6 7
 46. 英文の問題を毎回だしてくれたので英文読解に役立ちました - 6 8
 47. ほとんど大学入試のためだった。リーディング中心でたくさんの文章を読ませられたから - 7 4
 48. とても役に立ったと思う。文法と長文が別々に分かれていたからたくさん勉強できた - 7 6
 49. センター対策とかは役に立った - 7 7
 50. 大いに役に立った。受験対策がされていたから(ここ出るなど) - 7 8
 51. まままあ役に立った。長文を多く読んだ - 8 1
 52. 結構役に立ったと思う。大学入試の勉強の基礎にあるものは学校の英語の授業だと思うから - 8 2
 53. かなり役に立った。英文を読み、理解できることにつながったからです - 8 4
 54. 役に立った。入試でわかっただけじゃダメなところをしっかりと教えてもらったから - 8 5
 55. 少しだけ。あまりちゃんとした授業をしていなかった - 8 7
 56. とても役に立ったと思う。ただし高校で受けた英語の授業はとても大学入試に特化したものだった - 8 8
 57. 30% - 8 9
 58. 半分くらい。文法をしっかりと勉強するスタイルだったので基本的なことなら理解できた - 9 1
 59. 半分ほど役に立った。文法などを重視して教わったため語法の基礎が少し安定したと思うから - 9 3
 60. 役に立った。文法問題、長文問題は高校の授業を受けてないと思うから - 9 8
 61. まままあ。結局自分でやったことの方が大学入試向けの勉強だったから - 9 9
 62. 割と役に立ったと思う。筆記の授業が多かったから - 1 0 2
- 役に立たなかった
 63. あまり役に立っていない。全ては自分で勉強したことが受験で通用したから - 1 5
 64. あまり役に立たなかった。やった内容が浅かったから - 2 2
 65. 思わない。教科書の内容理解が主だったから - 2 9
 66. あまり役に立っていない。英語の授業で学んだことは入試ですべてこなった - 3 0
 67. あまり役に立たなかった。結果が今の状態だから役に立ってはいないと思う - 4 6
 68. 全く役に立たない。結果と受験レベルの相違が著しい - 4 9
 69. あまり思わない。定期テストのための勉強になってしまったり、一度やったことのある文などで暗記になってしまうから - 5 5
 70. あまり役に立たなかった。つまらなかった - 5 6
 71. あまり役に立たなかった。和訳ばかりで点数には結びつかなかった - 6 2
 72. 60%予備校の方がよかった - 6 4
 73. 役に立たなかった。推薦入試だったから - 6 6
 74. あまり役に立っていない。教科書ベースだったから、教科書が終わった後の入試に向けての授業の方が役に立った - 6 9
 75. あまり役に立たなかった。文法をあまり重視しなかったから - 7 0
 76. 全く。レベルが低すぎた - 7 1
 77. それほど役に立っていない。自分で勉強しなければわからないことが多かったから - 7 2
 78. あんまり役に立たなかった - 7 9
 79. ほとんど役に立ってない。自分で勉強したほうが理解しやすかった - 8 0
 80. 全く役に立ってないと思う。テキストを読むだけだったから - 9 0
 81. 役に立たない - 1 0 1
 82. あまり役に立たなかった。簡単な内容しかやらなかったから - 1 0 3
- その他
 83. 文法中心だったから - 1 7
 84. 大学受験では英語を使わなかった - 9 6